

(目的)

家庭科における目標は、家庭生活に必要な知識と技術・技能の習得、家庭生活についての理解を深めること、主体的で創造的な実践的能力を身につけることであり、よりよい家庭生活をおくることである。そのためには、自己の生活を振り返って問題点をより焦点化し解決の糸口を見つけ出す能力を身につけることが大切である。

そこで、本稿では、自己の生活を振り返り、問題点を内省する為の場を形成していく方法として、二次元イメージ拡散法⁽¹⁾を取り上げ、その有用性と活用方法を示すことを目的とする。

(方法)

二次元イメージ拡散法を用いた授業「生活行動と生活時間」を行い、それを分析する。

(結果)

授業実践の結果、次のことが示唆された。

- ①二次元イメージ拡散法は自己意識形成を支援する方法として有用である
- ②シンプルな手法であるため、作成に時間がかからない
- ③マッピングのプロセスで思考が大切にされ、コミュニケーションを活性化させる
- ④座標軸は主観的な基準によって決められるので、教師の意図を充分反映させられる

(1) 松原, 守山, 赤崎: 自己イメージ形成を支援するイメージマッピングの試み